1	学 校 名	大田区立御園中学校(拠点	校)										
	所 在 地	〒144-0051 大田区西蒲田8-5-1											
	電 話	03(3732)9328 03(3734)1373(教室直通)											
	校 長	田谷 至克 副校長 小田切 誠治											
	コーディネータ―	高野 真弓 齊藤沙也香	専門員	齊藤 紀代美									

2	学 校 名	大田区立東調布中学校(巡	可校)									
	所 在 地	〒145-0076 大田区田園調布南29-15										
	電 話	03(3750)4275										
	校 長	大石 哲	大石 哲 副校長 長尾 諭									
	コーディネータ—	菊地 昌子	専門員	彌冨 裕美子								

3	学 校 名	大田区立大森第七中学校(巡回校)											
	所 在 地	〒146-0084 大田区南久	〒146-0084 大田区南久が原1-4-3										
	電 話	03(3752)4278											
	校 長	佐藤 圭一	佐藤 圭一 副校長 濱島 美佐子										
	コーディネータ—	滝口 佳子	専門員	小野 忍									

4	学 校 名	大田区立志茂田中学校(巡回校)										
	所 在 地	〒144-0056 大田区西六郷1-4-10										
	電 話	03(3732)9318										
	校 長 名	青海 正 副校長 大曽根 努										
	コーディネータ—	松永 光貴	専門員	柏 隆								

(5)	学 校 名	大田区立矢口中学校(巡回校)										
	所 在 地	〒146-0092 大田区下丸子2-23-1										
	電 話	03(3759)9331	03(3759)9331									
	校 長	鈴木 孝洋	鈴木 孝洋 副校長 小曽根 隆									
	コーディネータ—	古沢 強	専門員	横坂 訓一								

6	学 校 名	大田区立蓮沼中学校(巡回	大田区立蓮沼中学校(巡回校)										
	所 在 地	〒144-0051 大田区西蒲田2-3-1											
	電 話	03(3753)2125											
	校 長	張替 健二	張替 健二 副校長 久住 直子										
	コーディネータ—	桐井 尚江	専門員	渡邊 卓也									

7	学 校 名	大田区立安方中学校(巡回	校)											
	所 在 地	〒146-0094 大田区東矢口2-1-1												
	電 話	03(3759)9335												
	校 長	佐藤 彰	佐藤 彰 副校長 五十嵐 潔美											
	コーディネータ—	原島紗織 柴田浩司 江成哲也	専門員	宮本 泰雄										

2 在籍生徒数 (人)

(令和5年4月7日現在)

学校名	御園中		「園中 東調布中 大森七中 志茂田中		矢口中		蓮沼中		安方中		小	計				
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
1年	3	1	2	0	5	1	4	2	2	0	3	0	6	0	25	4
2年	1	1	1	0	6	3	2	0	2	0	0	0	3	1	15	5
3年	2	0	5	0	3	0	3	1	1	1	0	0	1	0	15	2
小計	6	2	8	0	14	4	9	3	5	1	3	0	10	1	55	11
									合計	66						

3 入室対象生徒

通常の学級に在籍する知的障害のない発達障害又は情緒障害であり、通常の学級での学習におおむね 参加でき、「一部特別な指導を必要とする程度の生徒」が対象である。

(平成 18 年 3 月 31 日付 17 文科初第 1178 号)

※ なお、指導の対象とするか否かの判断に当たっては、医学的な診断の有無のみにとらわれることの ないように留意し、総合的な見地から判断することが必要です。

(障害に応じた通級による指導の手引き 改訂第3版)

※ 不登校の状態にある生徒は、一般的に通常の学級の授業に出席していない状況あることから、原則通級による指導の対象となりません。

<「一部の特別な指導を必要とする程度」の例>

- コミュニケーションがうまく図れない
- ・ 相手の立場になって考えることが難しい
- ・ 注意を集中し続けることが難しい
- ・ 授業中、勝手に席を離れてしまう
- ・ 質問が終わらないうちに出し抜けに答えてしまう
- ・ 他の人がしていることを邪魔したりしてしまう
- ・ 音読が苦手である
- · 書くことが苦手である
- ・ 計算が苦手である
- ・ 状況に合わない感情や気分が持続し、不適切な行動が引き起こされ、 自分の意思ではコントロールできない

4 教育計画

(1)教室設置の目的

日常の生活における生徒の学習上・生活上の困難さの改善により、より多くの時間、在籍学級で他の生徒とともに学校生活を送ること。

- (2)指導形態 自校通室-
 - ① 通常の学級における授業を受ける中で、サポートルームへ通室する曜日と時間を決め通室する。 ※ 行事や行事準備等と通室時間が重なった場合は、本人・ご家庭・学校との相談で判断します。
 - ② 生徒の状況に応じて、個別指導、小集団指導を行う。

(3)教室目標

- ① 学校生活での適応状況の改善及び社会生活の適応能力の育成を図る。
- ② 自らの力を十分に発揮し、学校生活、社会生活に適応できる心豊かな生徒を育てる。
- ③ 自律し、自立できる力を育てる。

5 指導内容

指導内容は生徒の実態により相談しますので、記載したすべての内容を行うわけでは ありません。(必要に応じて各教科の内容を取り扱いながら行います)

(1)自立活動

- ① SST(ソーシャルスキルトレーニング)
 - ・ 社会生活、日常生活を送るのに必要な基礎となる能力(聞くこと、話すこと、 時間の管理、マナー、身だしなみ、整理整頓、など)を身に付ける。
 - ・ 社会生活、日常生活に必要なコミュニケーション能力を身に付ける。
 - 人と関わるときのルールとマナーを身に付ける。
 - 人と関わることの楽しさを味わわせる。

② 自己理解

- ・ 自分自身について知る。(得意・不得意、長所・短所、性格、行動、目標、夢など)
- ・ 進路について自己決定する。

③ 作業学習

- ・ 手先の巧緻性、集中力を高める。
- ・ 見通しを持って課題に取り組む力をつける。
- 作品を完成させることで成就感、達成感を味わう。

④ 運動学習

- 基礎体力をつける。
- ・ 健康な生活を送ることの大切さを学ぶ。
- 人と関わりながら活動することの楽しさを味わう。

⑤ 感覚学習

- ・ 手先の巧緻性、集中力を高める。
- 豊かな感情を育む。
- (2)各教科の内容を扱った指導
 - ・ 生徒の特性に応じた学習方法を身に付けさせる。

(3)指導時間

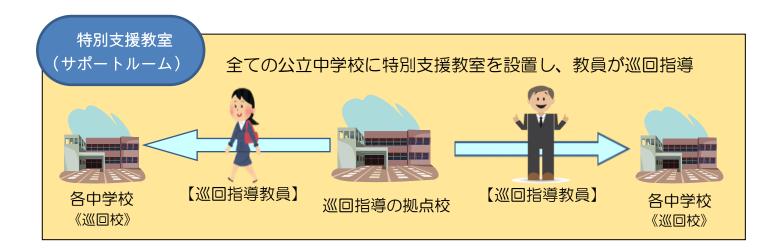
・ 一人あたり週1~2時間程度 (生徒の実態に応じて調整します。)

※ もし、利用をお考えの場合には、まず学校にご相談ください。

令和5年度 御園中学校グループ

特別支援教室(サポートルーム)





特別支援教室(サポートルーム) 大田区立 御園中学校(拠点校)



《巡回校》

大田区立 東調布中学校

大田区立 大森第七中学校

大田区立 志茂田中学校

大田区立 矢口中学校

大田区立 蓮沼中学校

大田区立 安方中学校

大田区立御園中学校

T144—0051

東京都大田区西蒲田8丁目5番1号

電 話 03 (3734) 9328

FAX 03 (3732) 9329